**第８４回観察会　2010年3月10日(木)　　　　　　　　　12:05～12:50　雨時々曇り**

**テ～マ『啓蟄の虫たち』**

**☆ガイドレポ～ト**

今回の観察会では、冬眠中の虫と冬眠から目覚めて動き出した虫の両方を観察しようという目論見で、「啓蟄の虫たち」というテーマにしてみました。2月下旬に暖かい日が続いたので期待していたのですが、3月に入ってからまた寒くなってしまいました。さらに観察会当日は雨。昼前には上がったものの、なんと観察会直前にまた降り出す始末。つくづく自分の雨男パワ～?!を痛感しました…。何とか小雨でおさまってくれて本当に良かったです。

昆虫は一般に、温度変化が少なく、乾燥を防ぐことができ、天敵に見つかりにくい場所で冬越しをします。朽ち木はそのような環境の一つで、たくさんの種類の昆虫が利用することから、越冬昆虫を観察するには非常に好都合です。まず東端のフェンス際にある朽ち木をチェックしました。幹の中心部が空洞になっている朽ち木を少し崩してみたところ、溜まった木屑の中からオオクチキムシという甲虫が数匹出てきました。この虫はその名の通り朽ち木などの腐植質を食べていますが、夏には樹液にやってくることもあります。次に、ブナ科ゾーンにある朽ち木を観察しました。毎年ここには多くの朽ち木が積み上げられていて、過去の観察会ではコクワガタの幼虫やチビクワガタを観察したことがあります。今年も下見の時にクワガタらしき幼虫を見つけたので、それ以上朽ち木を割らずに元通りにして置いておいたのですが、当日割ってみると中にいたのは何とコメツキムシの幼虫でした。コメツキムシは裏返しにすると勢いよく跳ね上がるあの有名な虫で、成虫は花蜜や樹液などを餌にしています。一方、幼虫は朽ち木の中に棲んでいて、他の虫を捕食しているのです。あの時のクワガタの幼虫はおそらくこの数日の間に運悪くコメツキの幼虫に見つかって、食べられてしまったのでしょう。それ以外にも、赤茶色のエグリゴミムシダマシと光沢が強いニジゴミムシダマシの各成虫、ゴミムシダマシ（種類不明）の幼虫、ハサミムシの成虫などがこれらの朽木から見つかりました。

次に、池のそばのハンノキの幹に付着しているクサカゲロウの卵を観察しました。一本の毛のようなものの先に一つの卵がくっついており、それが1か所に固めて産みつけられることが多いようで（今回は1個だけでしたが）、その形から「優曇華の花」と呼ばれています。最後に、小屋の戸板の隙間に並んでいたヤモリの卵殻を見ていただきました。本土にいるヤモリの卵は、面白いことに二個ずつ殻がくっついた状態で産みつけられます。

今回はあいにくの天候のため、活動中の虫は見られませんでしたが、それでもいくつかの越冬中の昆虫や生き物の痕跡を見ることができたのは幸運でした。これらの生き物が春になってどのような活動を見せるのかがとても楽しみです。

ガイド：吉本治一郎さん（京都大学大学院地球環境学堂）

**☆参加者の感想**

* 虫たちが住んでいる森はすばらしい。豊かですね。感動しました。
（参加１０回以上、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* ニジゴミムシダマシがキレイでした。朽ち木の朽ち具合と集まる虫の関係についての話が面白かったです。
（参加１０回以上、１８～３０才、女性、京大農学部昆虫生態院生のかた）
* 久しぶりに参加しました。虫たちの様子がとてもいとおしく感じました。
（３０～６０才、男性、京大近辺のかた）
* よしもとさんありがとう。
（無記入のかた）
* 「啓蟄の虫たち」というテーマに惹かれてきました。くち木の中のたくさんの虫がみられてよかったです。コメツキムシの幼虫初めて見ました。ありがとうございました。
（参加～５回、３０～６０才、京都市外のかた）
* どんな所で虫が冬をすごしているのか、実際に見ることができてよかった。観察対象が見えにくいことがあったのが少し残念。
(参加１０回以上、３０～６０才、女性、京都市内のかた)
* 虫は苦手ですが、いろいろ見せていただいて楽しい一時でした。ありがとうございました。
（参加～５回、６０才以上、京都市内のかた）
* 久しぶりに参加できて園内ゆっくり虫の冬越しの様子を見られてよかったです。
（参加～５回、３０～６０才、女性、京都市内のかた）
* ヤモリの卵おもしろかったです。冬も虫が元気に生きていることを実感しました。ありがとうございました。
（参加１０回以上、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* 木の中や土中などにいる虫を見れて楽しかったです。身近にこのような場所があるのは素晴らしいと思います。
（参加～５回、１８～３０才、女性、京大農学部昆虫生態院生のかた）
* 小さな虫の営みがみれて、楽しかったです。又来ます。
（参加～５回、３０～６０才、女性、京都市外のかた）
* 楽しかったです。
（初めての参加、１８～３０才、女性、京大教育学部生の方）